



写真提供：藤原博志氏

コウノトリのエサ いくつわかるかな？



コウノトリをささえる たくさんの生き物

コウノトリは、1971年に日本の自然からすがたを消してしまった鳥です。最後までコウノトリがすんでいた豊岡（とよおか）市では、人の手で育てたコウノトリを自然に帰すところみが行われています。今年7月31日、はなされたコウノトリのつがい自然の中で1羽のヒナを巣立たせました。43年ぶりのことでした。コウノトリは、体重4～5kg、つばさを広げると2mにもなる大きな鳥です。そのため、毎日およそ500gもの食物を必要とします。田んぼや川などにすんでいるエサとなるたくさんの動物たちによって、コウノトリはささえられているのです。

（遠藤菜緒子：自然・環境マネジメント研究部）

協力：兵庫県立コウノトリの郷公園 大迫義人 主任研究員

（答え）写真左上より コバネイナゴ、シマヘビ、オタマジャクシ、カエル（トノサマガエル）、アメリカザリガニ、ニホンカナヘビ、ドジョウ、ナマズ。ほかに、フナ類、タモロコ、ボラ等の魚類など色々な動物を食べています。